

2022年2月28日

ロシア連邦

大統領 ウラジーミル・プーチン様

一般社団法人北海道被爆者協会

会長代行 廣田 凱



ロシアのウクライナ侵略に強く抗議する  
～核兵器は廃絶されなければならない～

ロシアのプーチン政権は2月24日、ウクライナに対する軍事作戦を開始しました。これは他の主権国家に対するまぎれもない侵略行為です。ロシアのウクライナ侵略に強く抗議し、すみやかにウクライナから撤退するよう要請します。

加えて、プーチン政権は「ロシアは核保有国だ。核兵器が使われるとどうなるか」とウクライナとその支援者を脅しています。これは許しがたい行為です。

私たち被爆者が被ったヒロシマ・ナガサキの地獄のような苦しみは、再び誰にも味合わせではなりません。故意であれ偶発であれ、ひとたび核兵器が使われると、それはもはや人類の手には負えません。そう考えて昨年の1月22日に核兵器禁止条約は国際法として発効したのです。条約は、核兵器は非人道兵器であり廃絶しなければならないと言っています。そして核兵器による威嚇も核兵器の移転も禁止しています。ロシアは核禁条約を無視し続けていますが、国際法となった規範をこうまで乱暴に否定しつづけることは決して許されることではありません。NPT条約で核保有を認められている米ロ中英仏は同時に核軍縮の誠実な履行の義務を負っているのです。

広島・長崎の筆舌に尽くしがたい惨状を引き合いに出すまでもなく、核兵器は大量破壊をもたらす非人道兵器です。核保有5か国は、自国の核実験で、今も自国民や関係する諸国民がどれほどの苦しみを背負い後遺症に苦しんでいるかを知らないはずはありません。核兵器を廃絶しなければなりません。

ちょうど明日、68年前の3月1日にアメリカはビキニ環礁で水爆実験を強行し、今なお南太平洋の住民に放射能による多大な犠牲を強いています。この時日本の第五福竜丸をはじめ多くの漁船も被爆し死者まで出しました。この日は、世界の諸国民が、これ以上被爆者をつくってはならないとの思いを新たに、核兵器の禁止・廃絶を誓う日です。

私たち北海道に住む広島・長崎の被爆者は、ビキニ環礁での核被害を思い起こし、今回のロシアの侵略行為に強く抗議するものです。